



北浦小だより

令和2年9月24日

(HP) <http://www2.sopia.or.jp/kitaurael/>

Hop Step Jump 第21号

ホップ・ステップ・ジャンプ

文責:校長 武田 民弥

児童316名が創り上げた…「歴史に残る運動会」



「感動」をありがとう！



今年度初となった学校行事の運動会が20日（日）に実施されました。当日は、秋の気配が感じられる涼しい中、来賓・保護者の皆様に来校していただき、無事に開催することができました。

当日は児童が各競技や表現運動（ダンス）へ一生懸命に取り組む姿をご覧いただけたことと思います。児童は、短い期間でしたが、5・6年生を中心に児童が主体となって練習に取り組みできました。表現運動（ダンス）は各ブロック毎、先生方の構成や隊形移動など指導をいただき1週間毎日のように練習に取り組みできました。本番が近くなってからは、音楽が流れると自然と体が動くように、児童が進んで練習に取り組む姿がたくさん見られました。**リズムに乗って笑顔いっぱい踊る姿**に感心するばかりでした。また、児童席の応援は、例年以上に児童の自主性が見られ、高学年種目の時には、4年生が中心となって応援する姿が素晴らしかったです。今年度の運動会は、選手宣誓の中にあつたように「いろいろな行事が中止される中・・・」での実施でした。児童には「自分で感じて行動しよう」ということを話しました。マスクをする時・外す時、走る時・歩く時など、自分がこの場面でどう行動することが周囲や全体のためになるのかを考え判断して行うこと、さらには、**児童の力で創り上げる「感動ある運動会」**にしていこうと話してきました。

当日、会場で児童の演技をご覧いただいた保護者の皆様、指導してくださった先生方、そして互いに頑張った児童自身が「感動する運動会」を創り上げることができたと思います。それは、児童が競技に全力で取り組むだけでなく、係活動への取組も同じです。5、6年生の係活動に取り組む姿は本当に立派でした。**6年生は運動会の練習や準備の段階から、「運動会を成功させる」「思い出に残る運動会にする」という思いが伝わってきました。本当にありがとう。**



「自分たちで感じて、判断して活動する姿」を多くの場面で見ることができました。これまで、全校児童で集まること、活動することがまったくもてなかった状況下で、本当に児童は頑張り、成長したと思います。私だけでなく、担任の先生や係の担当の先生からもお褒めの言葉があったことと思います。お家の方からも頑張ったことへ励ましの言葉があったと思います。**児童はそういった褒められ、認められることで自分に自信もて、自己存在感や自己有用感が芽生えてきます。**今後も、児童一人一人が成長するために、児童に活躍できる場を与え、児童の行動を見守り、頑張ったこと・できたことを認め、成功へ導けるように教育活動へ取り組んでまいります。



今後、6年生は、互いに自分たちの努力をたたえ合い、自然体験学習、学習発表会、そして卒業に向けてと「**学校の顔**」としての最後の役割を果たしてくれることでしょう。5年生は、運動会で学んだこと、6年生の姿から感じたことを今後に生かし、**新しい「学校の顔**」としての自覚をもった行動をしてくれることを期待しています。

運動会終了後のPTA役員さんをはじめ、多くの保護者の皆様にテント等の片付けに取り組んでいただきましたこと、ありがとうございました。もとてもうれしかったです。地域が一体となり、「北浦小学校」を愛し、とても大切にしてくださっていることが伝わってきました。この**地域の一体感**は、今後の北浦小学校の強みとなり、**伝統・財産**になっていくのだとあらためて感じました。児童は成就感や達成感を感じ、運動会を終えることができたことと思います。

コロナ禍がどうなるかわかりませんが、来年度へ向け「運動会に関するアンケート」をお願いいたしますので、御協力をよろしくお願いいたします。